

北陸フェンス（順方向）及び中国四国間連系線（順方向）の
マージン設定実績を踏まえた
翌年度以降分マージン設定について

2019年2月15日

- 間接オークション導入後、蓋然性のある値の範囲でマーシンを設定している連系線のうち、北陸フェンス※（順方向）および中国四国間連系線（順方向）については、2018年10月～2019年2月までの実績で、設定値との乖離が見られることから、その扱いについて検討する。
- その際、間接オークション導入後のデータ蓄積期間が短いことを踏まえ、間接オークション導入前の2年間も含めて（2016年10月～2019年2月）の間で、比較的マーシンの設定値が大きかった断面について状況を確認した。

※北陸フェンス：中部北陸間連系設備及び北陸関西間連系線と合わせて確保する。以下同じ。

■ 集計期間: 2016年10月1日～2019年2月10日

■ マージン設定実績（上記期間内で500MW以上の設定実績）

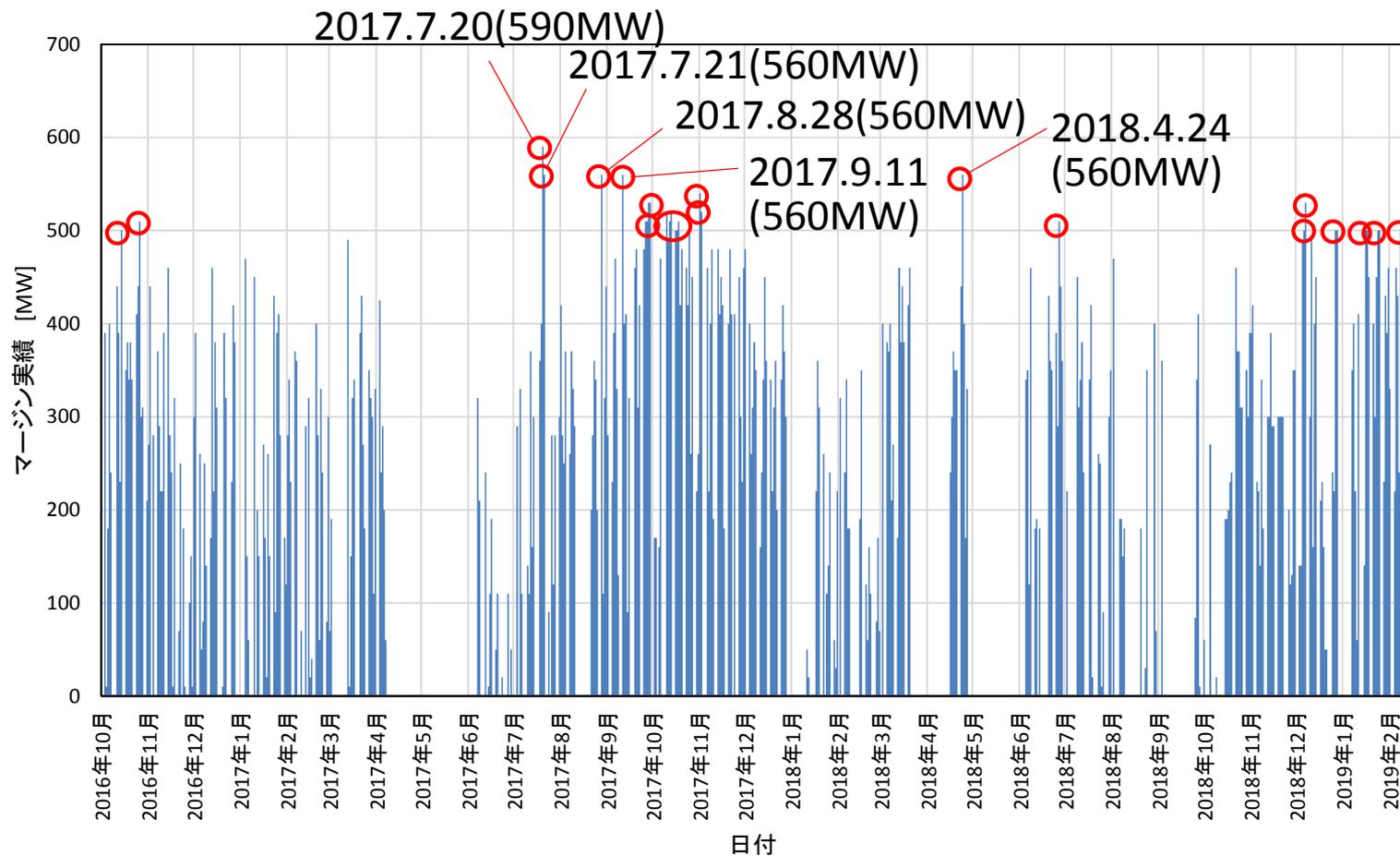
※赤字は重負荷期を表す

マージン設定値	日付			
590MW	2017年7月20日			
560MW	2017年7月21日	2017年8月28日	2017年9月11日	2018年4月24日
540MW	2017年11月1日			
530MW	2017年9月28日	2017年9月29日	2018年12月7日	
520MW	2017年10月10日	2017年10月13日	2017年11月2日	
510MW	2016年10月26日	2017年9月26日	2017年9月27日	
	2017年10月12日	2017年10月18日	2017年10月25日	2018年6月27日
500MW	2016年10月14日	2017年10月16日	2017年10月17日	2018年12月6日
		2018年12月27日	2018年12月28日	2019年1月16日
		2019年1月24日	2019年1月25日	2019年2月8日



マージンの実績最大は重負荷期(7月)
 間接オークション開始後の最大値は12月7日の530MW

■ マージン設定実績グラフ



■ 北陸フェンスの最大付近のマージン設定時における需給状況と発電機停止計画

日時（マージン）	概要	停止計画
2017年7月20日 (590MW)	高需要想定によるエリア内予備力減少のため	
2017年7月21日 (560MW)	高需要想定によるエリア内予備力減少のため	
2017年8月28日 (560MW)	高需要想定かつ発電所保守等によるエリア内予備力減少のため	年間計画：火力1台 臨時：火力1台
2017年9月11日 (560MW)	高需要想定かつ発電所保守等によるエリア内予備力減少のため	年間計画：火力1台 臨時：火力1台
2017年4月24日 (560MW)	高需要想定かつ発電所保守等によるエリア内予備力減少のため	年間計画：火力4台

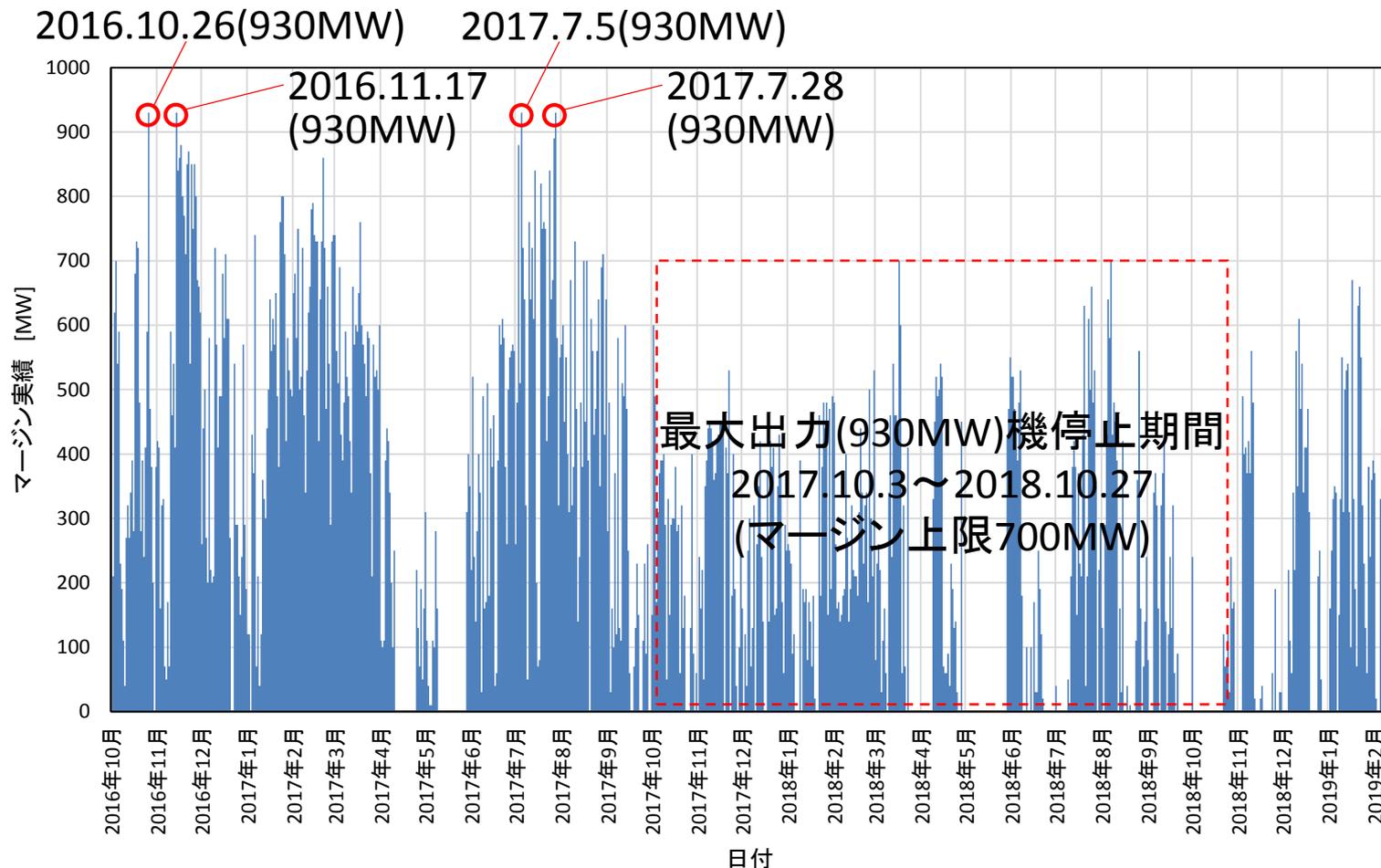
- 集計期間: 2016年10月1日～2019年2月10日
- 最大出力(930MW)機の運転期間: 2016年8月22日～2017年10月2日
2018年11月2日～(2019年2月15日時点運転中)
- 最大出力(930MW)機運転期間中のマージン設定実績

※赤字は重負荷期を表す

マージン設定値	日付	
930MW	2016年10月26日 2017年7月5日	2016年11月14日 2017年7月28日
890MW	2017年7月27日	
880MW	2016年11月17日	2017年7月3日
870MW	2016年8月27日	2016年11月22日
860MW	2016年11月16日	2017年2月21日

重負荷期にマージンが多く残る傾向。
しかし同様に10月,11月の端境期の設定値も大きい。
なお、2018年11月以降のマージン実績最大は2019年1月17日の670MW。

■ 最大出力(930MW)機運転期間中のマージン設定実績グラフ



■ 本四連系線の最大マージン(930MW)設定時における需給状況と発電機停止計画

日時	概要	停止計画
2016年10月26日	発電機の作業停止が重複したため予備力が厳しめとなった。	年間計画：火力5台 臨時：火力1台
2016年11月14日	発電機の作業停止が重複したため予備力が厳しめとなった。	年間計画：火力1台、 水力2台 月間計画：火力1台(10月臨時の継続分)
2017年7月5日	発電機の作業停止に加え、大雨による水力発電所の停止が見込まれたことや、マージン算出時点の発電機トラブルにより、翌々日の供給力見込みが減少し、予備力が厳しめとなった。	年間計画：火力1台
2017年7月28日	発電機の作業停止に加え、気温が高い日が続き、高需要を想定していたため、予備力が厳しめとなった。	年間計画：火力1台

- ・北陸フェンス（順方向）及び中国四国間連系線（順方向）のマーヅンについては、過去2か年分の実績の概要は以下の通り。

北陸フェンス（順方向）は、現在の蓋然性のあるマーヅンの値の範囲0～590MWに対し、590MW：1回、560MW：4回の設定実績となっている。

中国四国間連系線（順方向）は、最大出力機が再稼働後、蓋然性のあるマーヅンの値の範囲0～930MWに対し、930MW：4回の設定実績がある。

いずれの連系線も夏季重負荷期にマーヅン設定の最大値あるいは、それに近い値となるケースが多い。

- ⇒ 現状、間接オークション導入後、まだ、夏季重負荷期の実績の蓄積もないことから、2019年度以降のマーヅンについては、間接オークション導入以前の実績も踏まえ、現状と同様の設定範囲とすることでどうか。なお、2019年度以降も引き続き実績データの蓄積は継続し、必要により見直しを実施する。